

特集・泉鏡花とは誰か

- ・鏡花的なるものとの擦過によって生じた妖氣漂う世界を、あらゆる人が、創造の原点として、理解して、いわば、アナホリッシュ、泉の湧き出るところとしてもらう。
- ・まんが、狂言綺語、芝居、推理小説・幻想小説・奇譚、
- ・当然、語り、騙り、詩・小説もあり、文楽、義太夫、能楽、歌舞伎、映画……アニメーション。
- ・もちろん文学研究者はもとより、鏡花に心酔するすべての表現者の思いを特集にこめる。
- ・江戸的なものと、明治新政府のアンビヴァレント。

まず、文体。これほど考えつくされた語りの文体はあつただろうか。鏡花の小説はあるパターンを持っていて、読みなれると心地よい。近代自然主義文体へのアンチテーゼではないか。



妖怪変化を好む現代の若者たちへ 鏡花の芝居を見よう

ドキュメント風に芝居から立ち上がるものを報告してもらう。

鏡花と絵師

- 考えたいこと——映画 白と水——白山信仰 イマージュ・視覚の反転
- 実際に若い人に小説・戯曲を書いてもらう——鏡花に特にこだわる必要はないが、
今鏡花に熱中している人はどのような場所にいるか。表現の問題として。
- 妖怪変化と人間の関係性が実に悪意なく、かつ好ましい描写がなされている。
これが現代の妖怪物と一線を画している。
- 人間と動物の関係にある示唆を与えるように思う。
- 宮澤賢治・樋口一葉との親和——子ども

連載 末延芳晴／齋藤慎爾／鹿島徹